

【ゲーム版】 がっこうぐ
らし！ R T A試走
(隠しキャラ使用) 【テ
イスト】

無題13.jpg

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

RTA小説の流行に便乗してみました。

でも執筆中のが終わってないので、本番前のテストプレイという体裁で書いてます。

目次

000	
テストプレイ	
1	

000 | テストプレイ

最近、空前のブームが訪れたゲーム版『がっこうぐらし!』のRTA——の、隠しキャラ使つての試走、はっじまるよーっ（棒読み）。

まだまだチャートが出来ていないのですが、ブームが熱いうちにちよこちよこつとプレイしておきたいゲーム版プレイ実況。

今回はわたくし、クリア後に使える隠しキャラによる序盤攻略を行います。隠しキャラの特徴としては、

- ① 特定条件を満たした状態でクリアすると出現
- ② エディットでステータス振り分けが出来ないという特徴があります。

と、いうわけでクリアデータをロード。

セレクトするのはこちら、櫛灘潤子（くしなだ　じゆんこ）ちゃんです。

プレイ可能条件は『百種類の武器を使用すること』という、かなり面倒な手順が必要になります。

郵便ポストや道路標識など、非力なキャラでは装備できないアイテムが結構あります

が、実のところ学校とシヨツピングモールで目につくものをひたすら拾っていけば、片手武器しか装備できないキャラでも達成できます。

そうして使用可能になった潤子ちゃんのパフォーマンスですが、一言で表せば『脳筋』でしょう。初期スキルに『怪力』『両利き』『整息』『免疫』と字面だけで危なそうなのが並び、加えてスキルポイントで武術系統のスキル（合気道など）が全種類習得できます（武術スキルはキャラエディットで任意のものを一つ貰える）。

特筆すべきは『怪力』と『両利き』を同時に持つ唯一のキャラであることです。『怪力』は両手武器を片手で装備できる技能、『両利き』は二刀流が可能になる技能です。その二つが合わさった潤子ちゃんは『両手武器を二刀流出来る』唯一のキャラとなります（くるみちゃんを上回るゴリラ）。

反面、戦闘以外のスキルを一切習得できません。会話スキル、クラフトスキルいずれも全滅です。完全戦闘特化ヒロイン、それが榴灘潤子ちゃん！

しかし全ステータスが平均以上なので、最低限の交渉やバリケードの設営は出来ません。でも武器とか作ったり、NPCの正気度を回復させたりはできません。



では、オープニングをぶつちぎってゲームスタート。

この栗色クセつ毛の大女が潤子ちゃんです。

身長180センチ、体重77キロ。バストサイズは驚愕の109センチ！ といってもバストサイズのソースはないので、オブジェクトとかとの比較で出した目測です。でも絶対1メートルはあるでしょ、これえ!?

身長もあつて胸もあるとかうらやまけしからん!!

そんな彼女がパンデミックの中でどう立ち回るのか!

——カッター

そんなこんなで、廊下でめぐねえを見つけて話し込んでいたらパンデミック発生!

生徒たちが動く死体に食い殺される阿鼻叫喚の地獄絵図、潤子ちゃんにも武器を持つて戦ってもらいましょうか!

近くの掃除ロッカーに近づいて、拾う、と。

はい。潤子ちゃん、ロッカーを担ぎ上げましたね。それ見て微動だにしないめぐねえがシールドです。

別にこれ、潤子ちゃんに限った話ではなくて、普通に筋力が高いキャラなら同じことができません。

でも、まさか掃除ロッカーを両肩に担いで進軍していくJKなんて彼女ぐらいでしょう。

現れた『彼ら』など一撃粉碎。両手のロツカーを無造作に振り回すだけで挽肉に変えていきます。

あ、パンデミック発生前にコロコロしすぎると同行者の正気度と好感度が減りますが、どうせ消すデータなので気にしません、ゴリ押しです。

って、めぐねえどこ行くの!?

ダメでしょ、ちゃんとして来ないと！ 序盤のあんた極端に貧弱なんだから！
めっ！

ちなみに、注意しないと攻撃に巻き込まれたためぐねえが即死してしまいますので、調子に乗って暴れすぎないようにしましょう。

なんて話している間に屋上に到着です。

ここまで生存者0！ 彼らも0！

クリアリングは完璧だ。これなら先輩担いだくるみちゃんも安心して上ってこられますね。

よきかなよきかな。

◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆

佐倉慈は、こみ上げてくる吐き気を堪えるだけで精一杯だった。

突然巻き起こった、生徒同士の殺し合い。

いや、そんな言葉も生ぬるい。彼女の目の前で同僚の教師が食い殺されている。その様子は、手垢がついたパニツクホラーそのものだった。

だが、それ以上に。

「うおりゃあ!!」

榎灘潤子がアルミ製の掃除ロツカーを振り回す。風圧で窓ガラスが割れ、叩き潰された血色の悪い生徒が床のシミとなった。

「ちっ、歯ごたえねーの。おい、どうした、ゾンビども。ロメロさんとこみたく走つて来いよ」

軽口を叩く榎灘潤子の口元には、まるで亀裂が走つたような笑みが張り付いていて。

人間だったナニカを殺すことになんの躊躇もないようだった。

無論、佐倉慈はまだ事態を把握しておらず、襲ってくる生徒がすでに動く死体に成り果てているなど想像すらしていない。

ゆえに、なんの感慨もなく、むしろ楽しそうに『彼ら』を殺せる榎灘潤子こそが、得体の知れない怪物に見えた。

(逃げないと……っ!)

だが、暴力の嵐と化していた榎灘は、踵を返そうとした慈の気配を察したかのように、攻撃をやめて振り返った。

「どこ行く気だよ、センス。ちゃんとオレについてこねえと死んじまうぜ？ ほら、急いだ急いだ」

なんてことない、日常の一コマのように投げかけられた榊灘の言葉に、逃げようとした足が止まった。

その肩を、土気色になった手がぐいっと掴む。

「ひっ!？」

榊灘にばかり気を取られ、周囲の警戒を怠ってしまった。

振り向けば、至近距離にポツカリと空いた『彼ら』の口。

「あ——」

最後の言葉もなく、慈の命運はそこで尽きた。

それでも、喉を噛みちぎられながらも、慈は榊灘が信じるべき相手だったのか、その答えを出すことが出来なかった。

◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□

あ、めぐねえ死んでる。

だから付いてこいって言ったのに……。

やつぱり敵を殺しながら進むんだったら、めぐねえの手をちゃんと引いてないとダメですね。

さて、屋上到着ムービーが始まりましたので、今回はここまでとします。
気が向いたらチャートを作成して本格的にプレイしていきますので、
皆さんその日まで、ごきげんよーっ（棒読み）。